



益城町に関する話題やイベントなど広報係が取材したできごとをご紹介します。

表情豊かにお気に入りの物語を発表

児童による童話発表大会を開催

津森小学校体育館で9月4日、第43回益城町童話発表大会が開かれました。

町内各小学校の代表10人が参加した今大会。出場した児童たちは、場面に応じて身振り手振りを交えるなど、お気に入りの物語を表情豊かに表現。間の取り方や声の強弱にも気をつけながら、それぞれ練習を重ねた成果を披露しました。

審査の結果、^{たなかゆうり}広安西小の田中友梨さん(6年)と益城中央小の^{わたなべりん}渡邊凜さん(4年)が最優秀賞を受賞しました。



児童や保護者らが見守る中、練習してきた物語を発表する児童



ソフトボール(男子)競技での守りにつく益城町チーム

上位を目指し熱戦を展開

第70回熊本県民体育祭で本町の選手が活躍

県民体育祭が9月12日、13日の2日間、20郡市から約7,000人が参加し、熊本市を主会場に開催されました。

70回目を迎える今大会のスローガンは「森と水の都から世界へ翔け君の夢」。382人の上益城郡選手団も28種目で熱戦を繰り広げました。

本町からは同選手団として167人が出場し、相撲が準優勝、軟式野球が3位に入るなど活躍。上益城郡の男女総合4位という成績に貢献しました。

子どもたちの健康を願って

宮園地区で^{たかき}田掻地蔵奉納相撲を開催

9月16日、宮園地区の田掻地蔵奉納相撲が町民グラウンド相撲場で3年ぶりに開催されました。

地域の子どもたちが健康で良い子になるようにと、地蔵祭りに合わせて行われている相撲。勝てば“お地蔵さまからのご褒美”がもらえるとあって、参加した24人の子どもたちは何度も土俵に上がり、元気いっぱい^{いりぐちるきあ}の取組を見せていました。入口留希亜くん(宮園)は「9戦全勝できてうれしいです」と、たくさんのご褒美を手に満足そうでした。



3年ぶりに開催された相撲大会で元気な取組を見せた児童たち

活躍してます!

テコンドー

^{ますだめいな}
増田愛奈さん
(広安小5年)



8月30日、大分県で開催された第26回全九州テコンドー選手権大会小学5年女子の部に県代表として出場し、見事準優勝に輝きました。

